

拠点形成研究交流報告：カリフォルニア大学デービス校訪問

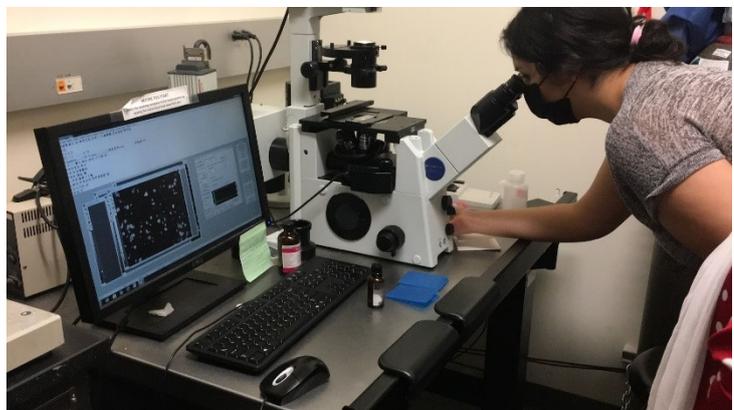
共同研究打ち合わせおよび酸化脂質の網羅的分析手法の取得

JSPS 拠点形成事業の一環として 2021 年 10 月 9 日～10 月 15 日に拠点校のカリフォルニア大学デービス校の Ameer Taha 准教授の研究室を訪問しました。9 日、10 日の外出自粛を経て、11 日は Taha 先生と打ち合わせを行いました。筆者は 2022 年 9 月より一年間アメリカに留学し、カリフォルニア大学デービス校の Taha 先生のもとで共同研究を行う予定であり、留学開始前に日本国内で進める研究内容に関し具体的な研究計画について打ち合わせを行いました。また、Taha 先生と議論を交わしながら、共同で論文執筆にも着手することができました。12～15 日には Taha 研究室にて、博士課程の大学院生である Tana Hernandez Barrueta さんより、脂質酸化生成であるオキシリピンの分析方法をご教授いただきました。オキシリピンは多価不飽和脂肪酸が酸化して生成する脂質であり、その数は数百種類にも及びます。今回はオキシリピンの網羅的な分析方法を学び、今後の共同研究において重要である分析方法を取得することができました。また、現地の学生、研究員との交流を通し、デービスでの研究活動やアメリカでの生活の様子について話を聞く機会も得られました。以上のように、本訪問を通し、来年度の留学に向けて研究面に加え生活面についても準備をすることができました。なお、15 日には帰国前 PCR 検査のためサンフランシスコに移動し、17 日までアメリカに滞在しました。

最後に、このような機会を支援して頂いた JSPS 研究拠点形成事業、指導教員ならびに食と農免疫国際教育センターの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



研究室にて、Taha 准教授と



抽出した脂質滴を顕微鏡にて観察する様子



Slusky 研究室の博士研究員、Taha 研究室の PhD 学生と

(文：農学研究科生物産業創成科学専攻機能分子解析学分野 博士課程前期 2 年 楠本惟吹)